

---

# 凍てついた心から・・・

ミランダ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

凍てついた心から・・・

### 【Nコード】

N5794D

### 【作者名】

ミラندا

### 【あらすじ】

本当の自分を隠して過ごしている【日向隼人】が本当の自分を出すまでの物語。学園ラブコメになる予定（仮）ですが、作者の気分次第で変わる予定。

## プロローグ

「早く帰らないと怒られるな・・・」

そんなことを思いながら、時計を見ると夜の10時を回っていた。

しかし【日向 隼人】は全く急ぐ様子も見せずに家路に着く途中だった。

彼は現在聖ヨハネ学園付属高校2年の生徒である。

容姿端麗、頭脳明晰、スポーツ万能であり、“男の敵”のような存在である彼だが、学園の大半の生徒は不思議なことに平凡ないち生徒という認識しかもっていないのである。

それは・・・彼が学園では注目されることを極度に嫌うために、学園用【日向 隼人】を演じているためである。

そんな彼が仮面を外す場所のひとつが放課後～夜9時までですごす場所である”聖ヨハネ学園大学サッカーグラウンド”である。

彼は今まで大学生に混じってサッカーの練習をしてきたところだった。

「隼人！ずいぶん遅いな。今帰り？」

突然後ろから声がして、あわてて振り向くとそこにはいつも見慣れた顔があった。

「なんだ、智也か。今日は気合が入って遅くなっちゃったよ。お前

も今帰りか？」

そいつの名は”桜川 智也”。同じ学園に通い、学年もクラスも同じ。さらに幼稚園から一緒という通称”幼馴染兼親友で本当の日向隼人を知る者”である。

智也は学園でも1、2を争う人気者だ。整った顔を持ち、バスケット部のエースであり、成績も常に10位以内には入る。さらに誰とでも仲良く出来る才能を持っているため男女問わず慕うものが後を絶たない。

「ああ、今練習終わって帰るところだ。それにしてもせっかく徒歩10分で学園から帰れるのに、わざわざ5Kmも離れた大学のサッカー部で練習するとは・・・隼人も学園のクラブに入ればいいのに。」

「学園でサッカーなんて考えられないね。」

「注目あびるからか？」

「学園の人気者が智也から俺に変わってしまうからだよ。分かるかね、智也くん。」

「ははは、言ってる！」

そんなくだらない話をしていたら、隼人の家の前に着いていた。

「智也。上がっていくか？」

「今日は遠慮しておくよ。楓によろしく言っといてくれ。」

「おう、じゃあな！」

そういって、智也は500mも離れていない自宅に向かって歩いていった。

「やばい。忘れてた。楓、怒ってるかな？」

そう言いながら、隼人はマンションの入り口でインターフォンを押した。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5794d/>

---

凍てついた心から・・・

2010年10月9日23時00分発行